

△ 岡山新聞記事

△ 河野

吾々の代表として松本氏

意見書は個人的ものである。

議工は河野君の力とこの地方の
問題として認識せよ。

△ 實 業 繁 榮 (神 戶 月)

(1) 松本氏 他人の意見があるときも、たゞ本邦報告書に
踏込んで、此の大会に反映させたい。

(2) 新保氏 一と云ふ事と、総合幹部の存在の如く扱ふ
は、日本労働俱樂部問題の如きは、大衆向け策及対
応あるに、一部の幹部の意に支へられ、そのものは、
(3) 府縣會議員選挙 立候補者の詮議は、如何なる
基準とするか

要知、松本の大腸君は無差際政として、意識は全然
なく、売りのスローガンである。五回の公認料と云ふ
視点は、もはや忘れ去るべきである。
三多務の田中某君が、大衆的意見と云ふ事があるが、
中三と云ふ意見は、それである。